酪農宮崎

令和5年11月30日　印刷
令和5年12月　1日　発行
編集人：立 山　行 広
発行所：宮崎市霧島1丁目1番地1
宮崎県経済農業協同組合連合会
電話(0985)31-2100
http://www.kei.mz-ja.or.jp/
印刷所：宮崎市大字赤江字飛江田931
宮崎紙工印刷株式会社
電話(代)78-2324

みやざき産牛乳をみんなで飲もう!!

毎月1日は牛乳の日!

NO.625
2023年12月

MIYAZAKI Delicious market

12月号目次

酪農情勢報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
サンA商品(宮崎産牛乳)広告/ルーツを訪ねて！ ・・・ 2
畜産機械・施設リースのご案内 ・・・・・・・・・・・・・ 3～4
技術のページ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5～6
MIYAZAKI Delicious market ・・・・・・・・・・・ 7
ミルクレシピ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
農学部ナンノ教授のひとりごと ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
全酪連広告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
全農広告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 裏表紙

MILK UP!
プロジェクト

経済連ＨＰ

酪農情勢報告

1.生乳生産動向

令和5年11月15日現在

指定団体	10月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
北海道	319,282	95.5	2,298,729	94.9
東　北	37,500	92.0	272,917	93.1
関　東	83,128	96.6	589,732	95.5
北　陸	5,372	91.9	39,140	92.0
東　海	23,700	93.4	170,040	92.2
近　畿	11,401	96.3	80,115	94.1
中　国	23,441	96.6	164,951	96.3
四　国	8,455	97.6	59,506	96.3
九　州	44,055	95.7	315,611	94.2
(内、宮崎)	5,278	95.0	38,035	94.4
都府県	237,053	95.3	1,692,012	94.5
合　計	556,335	95.4	3,990,741	94.7

2.販売状況

令和5年11月15日現在

用　途	区分	10月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
飲用牛乳	全国	263,967	95.7	1,796,933	95.6
	九州	32,445	94.2	227,939	93.4
はっ酵乳等	全国	35,949	96.1	257,077	95.2
	九州	7,288	103.5	50,855	99.9
特定乳製品	全国	111,379	90.7	932,177	90.0
	九州	1,851	92.3	19,954	85.6
生クリーム	全国	111,091	99.0	754,398	98.8
	九州	2,376	98.2	16,202	99.5
チーズ	全国	33,948	96.9	250,155	95.0
	九州	96	100.7	661	98.6
合　計	全国	556,335	95.4	3,990,741	94.7
	九州	44,055	95.7	315,611	94.2

(小数点以下の四捨五入等で合計が一致しないことがあります)

3.生乳出荷量別生産者戸数 10月

生乳出荷量	戸数
100ｔ以上	7戸
80ｔ以上　～　100ｔ未満	2戸
60ｔ以上　～　80ｔ未満	3戸
40ｔ以上　～　60ｔ未満	22戸
20ｔ以上　～　40ｔ未満	58戸
10ｔ以上　～　20ｔ未満	66戸
10ｔ未満	24戸
合　計	182戸

最高出荷量	235t／月
平均出荷量	29t／月

4.トピックス

みやざき MILK UP！

本格的な冬の到来を迎え、身も心も引き締まる思いがしております。厳しい寒冷に人も堪えますが、牛は暑さより強くても特に子牛については、防寒対策が必要ですので、万全な防寒対策を講じるようお願いいたします。昨年度からの国際的な情勢悪化と円安等の影響による物価上昇により、厳しい酪農経営が続いております。そのような中、昨年11月には飲用向け・発酵乳向け乳価が10円／kg、今年4月には加工向け乳価が10円／kg、8月からは飲用向け・発酵乳向け乳価が10円／kg引き上げられ、12月からはバター・生クリーム向け乳価が6円／kg引き上げられ、過去にない乳価の引き上げ幅となっております。九州生乳販連の10月分の実績乳価が前年比17円75銭の増、11月分の見込み乳価で前年比9円50銭の増で見込まれております。(11月16日時点、費用含まず)昨年からの乳価引き上げで一時期よりは、厳しさが緩和されたのではないかと思われます。

11月18・19日の2日間、イオンモール宮崎にて宮崎県酪農協議会役員とJA等担当者による理解醸成活動を行い、牛乳・乳製品の値上げと酪農の厳しい現状を消費者の方に理解して頂くため、チラシや200㎖牛乳を延べ800名分無償配布し、1ℓ牛乳を延べ600本販売、更には模造牛による搾乳体験等を通し、幅広い世代へ訴求いたしました。また、夏に引き続き、SNS(インスタグラム)を活用した牛乳消費拡大キャンペーン第2弾とし、12月15日～1月21日まで「みやざきmilkup!酪農家応援#私の牛乳活用術写真投稿キャンペーン」を実施いたします。酪政活動としては、11月25日に日向市で農水省職員同席のもと自民党畜酪対策委員会による国会議員と県内畜産関係生産者代表との意見交換会が開催され、宮崎県酪農協議会の石川会長より「補給金制度の充実化、配合飼料高騰対策の継続、改正畜安法の適正化等」について意見を交わしました。11月29日には、東京の自民党本部で自民党酪政会総会と九州酪政会総会がそれぞれ開催され、九州酪政連委員として石川会長が出席し、酪農関係の要請活動を実施しております。消費拡大・理解醸成活動、酪政要請活動を通じて酪農家さん自らが消費者や国へ訴えかけることに意義があると感じております。

11月下旬に佐賀県と茨城県で鳥インフルエンザが発生し、各地で野鳥による発生が相次いでおります。酪農とは直接関係はありませんが、同じ畜産関係者として、家畜の殺処分を経験したものとして、我々、関係者を含め、他人事ではありません。過信せず常に防疫意識を高め、防疫強化対策の徹底をお願いいたします。

―唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である―

酪農課　加藤　喜博

ルーツを訪ねて！「老牧夫回想録」より（高橋照次著）

マナワタ酪農協同株式会社（脱脂粉乳、バター工場）

建設後日浅い最新式工場で粉乳工場とバター工場は七〇m位離れている。粉乳工場は観覧お断りで、バター工場は写真機持込遠慮で見せてくれた。

現在の集乳日量十万ガロン（二、五〇〇石）になる。〃生産〃バター四〇ｔ、スキンミルク二五ｔ、ピーク時は、二〇万ガロン（五、〇〇〇石）になる。原乳受入は粉乳工場で行われ、クリームを地下パイプでバター工場に送る。

バター工場

全自動の連続製造で、日本で見なされていたパターチャンは見られない。

各部の機械はA・P・Vを始め英国製が多い。

作業員は製形包装部に居るだけで製造過程には一人も見当たらない。

一〇〇ポンドの生乳から四ポンドの脂肪と云うから脂肪率は四％だろう。そして四・八ポンドのバターが造られる。

包装は五六ポンド（二五・四kg）の箱詰と一ポンド詰。

この工場では印度、アフリカ等の飢餓迫る子供向けのビスケットを造っている。オレンジ、苺、パッションフルーツ等で味付けされており一片で牛乳一八〇c.c.に相当するそうだが脂肪が強くてうまいものではなかった。

畜産機械・施設リースのご案内

公益財団法人畜産近代化リース協会は、地方競馬全国協会の助成を原資に、畜産農家が利用する畜産機械施設のリース事業を通して、畜産経営の近代化と体質強化を図っております。ぜひ畜産経営にお役立てください。

リースの仕組み・特徴は

●畜産農家の皆さまには地元農業協同組合等を通じてリースされます。

リース物件は、ご自身が選んだ販売業者から（公財）畜産近代化リース協会が購入し、農業協同組合等にリースします。畜産農家等には農業協同組合等から再リースします。

●経営資金が有効に使えます。

リース料を支払うことで機械施設がご利用できますので、導入時に多額の購入資金を準備する必要がありません。附加貸付料は年0.7%と極めて低利です。

●導入する機械施設、購入業者が選べます。

リースする機械は、利用する皆さまが自由に選定し、購入価額も販売業者と交渉し決定して頂きます。

●中古機械施設もリースできます。

中古の機械施設で一定の基準を満たすものは、リースの対象となります。

●随時、迅速に機械施設を貸付します。

リース申請は随時受け付ており、貸付契約も迅速に行いますので、必要な時に導入ができます。

借りる機械施設のリース料

リース機械施設の取得価額から譲渡価額（取得価額の100分の10に相当する額、または、ゼロを選択※）を控除して得た額を、リース契約期間の年数で割って得た額を年額として、納入していただきます。その他、消費税・附加貸付料・信用保険料(任意)を納入していただきます。

詳細については次ページの「支払例」をご覧ください。

※譲渡価額はゼロとすることも選べるようになりました（令和４年度より）。

リース期間が終ったら

リースした機械は、リース期間終了後はご自身のものとなります。

最終回のリース支払いが完了しましたら、機械はご自身へ譲渡されます。

リース期間中の事故はどうなるの

リース期間中は、偶然の事故損害が補償されます。

リース機械施設は割安な掛金で損害保険（動産総合保険）に一括加入となるので、リース期間中の火災・落雷・盗難等偶然の事故による損害が補償されますので安心してご利用いただけます。ただし、車両（トラック、トラクター、ホイルローダー等）は、ご自身で車輌保険への加入が必要となる場合があります。

詳しいことをお知りになりたい方は、宮崎県畜産協会（TEL0985-41-9302）、又は、最寄りの農業協同組合までご連絡下さい。

支払例（ブロードキャスター、リース期間6年、取得価額 100 万円（消費税抜）、譲渡価額 10％の場合）

	１年目	２年目	３年目	４年目	５年目	６年目 下段：譲渡	合計
リース料	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000 100,000	1,000,000
消費税	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000 10,000	100,000
附加貸付料	6,737	5,687	4,637	3,587	2,537	1,487	24,672
保険料	7,510	－	－	－	－	－	7,510
信用保険（任意）	5,082	4,290	3,498	2,706	1,914	1,122	18,612
年間支払 合計額	187,427	177,593	175,267	172,943	170,617	278,293	1,150,794

注１　年間支払合計額を、毎年９月末と３月末の年２回に分けて支払います。実際には年ごとの支払額は貸付開始月によって異なりますので、詳しくはお問合せください。

注２　機械施設の維持管理費・固定資産税等の租税公課はご自身の負担となります。

注３　このほか、このリースを扱う農協等の事務手数料がかかる場合があります。

リースできる主な機械と期間

貸付機械施設名	主要なリース機械　※１	期間　※２
自給飼料の生産利用のための機械施設	ﾄﾗｸﾀｰ、ﾛｰﾀﾘｰ、ｺｰﾝﾊｰﾍﾞｽﾀｰ、ﾓｱｺﾝﾃﾞｼｮﾅｰ、ﾋﾟｯｸｱｯﾌﾟ、ﾃｯﾀﾞｰ類、ﾌﾞﾛｰﾄﾞｷｬｽﾀｰ、ﾌｫﾚｰｼﾞﾊｰﾍﾞｽﾀｰ、ﾎｲﾙﾛｰﾀﾞｰ、自動給餌機、飼料撹拌機、播種機、ﾚｰｷ類、ﾃﾞｨｽｸﾓｱｰ等ﾓｱｰ類、ﾏﾆｱｽﾌﾟﾚｯﾀﾞｰ、ｻｲﾄﾞｽﾌﾟﾚｯﾀﾞｰ、ﾗｯﾋﾟﾝｸﾞﾏｼﾝ、ｶｯﾀｰ、ﾛｰﾙﾍﾞｰﾗｰ、ﾛｰﾙｶｯﾀｰ、ﾍｲﾍﾞｰﾗｰ、ﾗｳﾝﾄﾞﾍﾞｰﾗｰ、ﾌﾟﾗｳ、ﾊﾛｰ、ﾛｰﾗｰ　など	６　年 （４～９年）
	ﾄﾗｯｸ、牧さく、農業用 GPS　など	６　年 （３～５年）
	ﾀﾞﾝﾌﾟｶｰ、ﾌｫｰｸﾘﾌﾄ、軽ﾄﾗｯｸ　など	５　年 （２～４年）
生乳の生産の合理化のための機械施設	ﾊﾟｲﾌﾟﾗｲﾝﾐﾙｶｰ、ﾐﾙｷﾝｸﾞﾊﾟｰﾗｰ、ﾛｰﾀﾘｰﾊﾟｰﾗｰ、搾乳ﾛﾎﾞｯﾄ、自動搾乳ｼｽﾃﾑ、ﾕﾆｯﾄ自動搬送ｼｽﾃﾑ、ﾊﾞﾙｸｸｰﾗｰ、ﾌﾟﾚｰﾄｸｰﾗｰ、生乳成分分析装置、体細胞測定装置　など	６　年 （４～９年）
畜舎環境改善機械施設	清掃ｼｽﾃﾑ（ﾊﾞｰﾝｸﾘｰﾅｰ等）、ｽｸﾚｰﾊﾟｰ、集ふん機、ｽﾗﾘｰﾎﾟﾝﾌﾟ、袋詰装置、送風機、ﾄﾗｸﾀｰ、ﾎｲﾙﾛｰﾀﾞｰ、消毒装置、細霧装置、発電機、哺育機、通風装置、受電装置、牛床ﾏｯﾄ、給水施設、給湯設備、発情検知ｼｽﾃﾑ、滅菌機、飼槽、乳頭清拭装置、自動給餌機、高圧洗浄機、電動ｶｳﾌﾞﾗｼ、牛群管理ｼｽﾃﾑ、ｽﾀﾝﾁｮﾝ、哺乳ﾛﾎﾞｯﾄ、ﾊﾟｽﾁｬﾗｲｻﾞｰ、ｶｰﾌﾌｨｰﾀﾞｰ、ﾊﾟﾚﾀｲｻﾞｰ、牛舎柵、畜舎ｶｰﾃﾝ、削蹄機　など	６　年 （４～９年）

※１　この表はリースしている機械の一部です。この表以外でも畜産業に使う機械はリースできます。

※２　リース期間は要望により、上表に（　）で記載している年数に変更することができます。

大切な家畜や飼料を野生動物から守るために

宮崎県総合農業試験場　鳥獣被害対策支援センター　弓削　有子

○はじめに

本県の野生動物による農林作物等の令和４年度の被害額は約３億７，３００万円で、近年は、侵入防止柵の整備や有害鳥獣捕獲等の効果により、減少傾向にあるものの、依然として中山間地域を中心に深刻な問題となっています。飼料作物においては、イタリアンライグラスの被害が最も多く発生しており、自給飼料の生産に影響を及ぼしています。

また、野生動物は、飼料作物への被害だけでなく、家畜伝染病や人獣共通感染症の伝播などの問題もあり、畜産経営において大きな脅威となっています。

○飼料作物はこんなに食べられている

図１，図２は、県内のある採草地で試験を行った際の写真です。イタリアンライグラスの畑に柵を設置し、野生動物による食害状況を調査したところ、10ａあたりの収量は柵の内側で4.15ｔ、柵の外側で0.5ｔとなり、10ａあたり3.65ｔのイタリアンライグラスがシカやイノシシに食害されていることが分かりました。

飼料作物は「家畜を育てるために選りすぐられた植物」であり、生育旺盛で栄養価も高く、野生動物にとってもこの上ないエサとなります。

何も対策をしない採草地があれば、野生動物が飼料作物を食べて栄養状態が良くなり繁殖率が高まる上に、本来ならエサ不足により個体数が減少する冬期でも多くの個体が生き延びることができるため、野生動物が増える要因のひとつになっているのです。

図１　野生動物による食害調査

図２　柵の内外で収量に大きな差

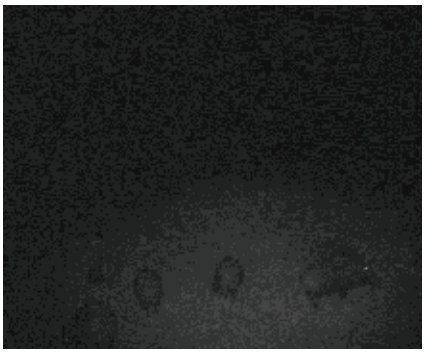


図３　集団で飼料作物を食害するイノシシ

○野生動物は畜舎へ侵入していませんか

飼料作物の食害だけでなく、イノシシやタヌキ、アナグマ等が畜舎へ侵入して配合飼料を盗食したり、サイレージのフィルムを破るといった被害や、畜舎内に侵入したカラスがくちばしで家畜を傷つける等の被害額に直接反映されにくい事例も発生しています。

野生動物の畜舎への侵入は、衛生面でも多くの問題を抱えています。野生動物が排泄をして畜舎内に病原菌を媒介することで、家畜の健康に影響を及ぼすだけでなく、人獣共通感染症の伝播にもつながる恐れがあります。

図４　野生動物に破られたサイレージ

○被害対策

被害対策で重要なのは「なぜ被害が発生しているのか」を理解することです。
野生動物は、安全で食物がある場所を求めて行動しています。単に捕獲や柵をするだけでは、野生動物は集落や農地に来続け、被害はなかなか止まりません。
まずは被害の原因を理解し、正しい知識を身につけてから被害対策に取り組みましょう。

①無自覚の餌付けをしない

畜舎やほ場の近くに作物残渣や生ゴミ、放任された果樹などはありませんか。
人にとっては不要なものであっても野生動物にとっては貴重なエサとなり、農作物の味を覚えることで被害を助長する原因となってしまいます。このような「食べても人が怒らないエサ」を無くし、「無自覚の餌付け」をしないようにしましょう。

②野生動物が近づきにくい環境づくり

イノシシ、タヌキ、アナグマ等の野生動物は、畜舎をエサ場としてだけではなく、すみかや潜み場所、あるいは休息場所として利用していることがあります。野生動物の侵入経路となっている場所はないかを確認した上で、隙間をネットや金網等で塞いだりして、少しでも野生動物が侵入しにくい環境を作りましょう。
また、ほ場の近くに野生動物が安心して身を隠せるヤブがあれば、刈り払いを行って緩衝帯を整備します。見通しをよくすることで、野生動物がほ場に近づきにくい環境になります。

図５　緩衝帯の整備

③正しく柵で囲って侵入させない

柵の設置は、野生動物がエサにありつけなくするための嫌がらせの手段のひとつです。農地や集落全体のエサ場としての価値を下げる取組も併せて必要となります。
柵が設置されていても正しく設置されていなかったり、設置後の管理がきちんとできていなくて柵の効果が発揮されていない事例も多く見られます。
柵を設置する際は、害獣の種類に応じた正しい資材を選んだ上で、図６、図７のように地形や管理しやすさを考慮して設置を行いましょう。野生動物は、柵を跳び越えるのではなく、「地際部の隙間をくぐり抜ける」ことが多いため、隙間をつくらないことが防護柵設置の基本となります。そして柵を設置した後はきちんとメンテナンスを行い、その効果を持続させていくことが重要です。

図６　地形を考慮して柵を設置

図７　柵の内外両方を人が歩けるように設置

「みやざきデリシャスマーケット2023」

ＪＡ宮崎経済連酪農課　中山　真理子

ＪＡ宮崎経済連は、１１月１８日（土）１９日（日）の２日間、宮崎市のイオンモール宮崎において「食で宮崎を元気に！」と開催された「みやざきデリシャスマーケット２０２３」に出展し、宮崎県産牛乳の特別価格PR販売及び模擬牛「ミル子」の搾乳体験を実施しました。イベント当日は風が強く気温も低かったのですが、牛乳の特別価格ということもあり多くの方に購入していただきました。搾乳体験も列ができるほど好評で、ご家族で写真を撮影したり楽しく体験されていました。

また、宮崎県酪農協議会役員による理解醸成活動が両日実施され、牛乳とチラシを配布し一般消費者に牛乳の消費拡大を呼びかけました。

今後もこのようなイベントを通して理解醸成や消費拡大に繋げてまいりたいと思います。

★ミル子の搾乳体験

★宮崎県産牛乳の特別価格販売

★理解醸成活動

牛乳料理の紹介

ミルクハンバーグ

＜材料4人分の分量＞

Ⓐ
- 合いびき肉or
- 豚ひき肉 …… 200g
- 玉ねぎ …… 1/2個（100g）
- 卵 …… 1/2個
- パン粉 …… 大さじ1
- 牛乳 …… 大さじ2
- 塩・こしょう …… 各少々

Ⓑ
- バター …… 10g
- 小麦粉（薄力粉） …… 大さじ1

- サラダ油 …… 少々
- 牛乳 …… 200㎖～300㎖
- 塩・こしょう …… 少々
- にんじん …… 適量
- ブロッコリー …… 適量

＜作り方＞

①玉ねぎをみじん切りにし、ボウルにAのハンバーグの材料を入れ粘りが出るまで混ぜ、4等分して丸める。
②にんじんは輪切りにし、ブロッコリーは小房に分け、電子レンジで加熱しておく。Bの小麦粉とバターをしっかり混ぜておく。
③フライパンにサラダ油を熱し、①のハンバーグを中火で焼き色がつくまで両面を焼く。
④③のフライパンの油をふき取り、②の野菜と牛乳を入れてふたをして沸騰後6～7分、ふきこぼれないように注意しながら煮る。
⑤④のハンバーグと野菜を取り出して器に盛る。
⑥⑤のフライパンを中火にし、Bを入れて伸ばしながら火を通し、塩・こしょうで味を調えハンバーグにかけて出来上がり。

農学部 ナンノ教授のひとりごと

十数年ぶりの北京訪問

南野　快

北京で開催の第5回世界生殖生物学会に出席するために今年9月に中国を訪問した。本来は2020年9月に予定だったのがコロナ禍で3年延期されて漸く開催となった。この大会の基調講演に招聘された私も3年間待ってからの訪中となったが、中国渡航にあたっての準備が大変だった。10数年前に2回ほど中国に行った時には不要だったビザが、今は必要とのことで5月に旅行業者に問い合わせたところ、ビザ申請手続きに必要な書類が複数送付されてきて、さらに「代行業者に依頼することもできますが、福岡総領事館に一度は申請者本人が足を運ぶ必要があります。」とのこと。総領事館にて申請者の指紋等、本人確認をしなければいけないらしい。書類を揃えて記入するのは手間がかかるし、宮崎から福岡までわざわざビザ申請のためだけに出向くのも時間とコストを要する。この時期、他の仕事でかなりバタバタしていたので、とても憂鬱な気分になった。ところが、ある“抜け道”があることを知った。それは「144時間トランジットビザ免除」という方法である。すなわち、中国の一都市を経由地（トランジット）として144時間（6日間）以内の、しかも当該都市地域に限定した滞在であれば、中国入国に際してのビザが不要となるプログラムである。経由地なので日本と中国の往復では適用されず、日本→中国→第三国→日本、あるいは日本→第三国→中国→日本というルート設定にする必要がある。経由地が増えるとはいえ、日本と中国と間には韓国が途中にあるので韓国に寄ることにした。ちょうどソウル大学にも用事があったことから、ここを最終目的地として、その前に北京へ、というルート設定とした。ただ、最初のチケット（旅行業者は「144時間トランジットビザ免除」の方法ではチケットを取ってくれなかったため、自分で購入）は日本→韓国→中国→韓国→日本の旅程で購入したものの、その後にこのルートでは同プログラムが適用されないことに気が付いた。韓国－中国間が往復となり、それではトランジットとは見做されないからだ。仕方がないのでキャンセル料を払ってこのチケットを取り消し、宮崎→大阪→北京→ソウル→福岡→宮崎という旅程を組んだ。しかし、気が付いたのが日本を離れる前で良かった。これが北京空港到着時だったら中国に入国できず、学会での講演もドタキャンになるところであった。

多少ドキドキした入国審査も無事に通った。折しも、福島第一原発の処理水の件で中国政府が態度を硬化した直後、「中国の街では大きな声で日本語を話すと生卵が飛んで来るかも」という声も聞こえていたが、いざ北京の街に足を踏み入れてみると、学会会場の中国人研究者はもちろんのこと、一般の人々も皆、親切であり、そんな懸念は杞憂だった。落ち着いて学術交流に励むことができた。学問に国境なし、だ。

写真：北京で買った蓋付きマグカップ．
“牛”が付いていたので思わず手に取って衝動買い．

牛用ミネラル混合飼料

いつものエサ ＋(たす) カルシウム

たすカルペレット

20kg紙袋 ペレット

１６０円/袋引き

期間：令和５年１１月から
令和６年１月末まで

「たすカルペレット」の3つのポイント

★ **カルシウム31％以上**という高い成分を確保すると同時に、「**超微粒子炭酸カルシウム**」を原料炭酸カルシウム中20％混合！

★ 酸化マグネシウムで**マグネシウム4％**の成分を確保！

★ **糖蜜**を混合した嗜好性のよい**ペレット**製品！

くみあい配合飼料　乳配

くみあい配合飼料

フレーク＆ペレット

➢ 乳配M

- CP 17.0%・TDN 72.0%
- ヘイキューブ、綿実を多く配合したミックスタイプ

➢ 乳スタンダード

- CP 17.0%・TDN 74.0%
- ローコストでベーシックな搾乳牛用配合飼料

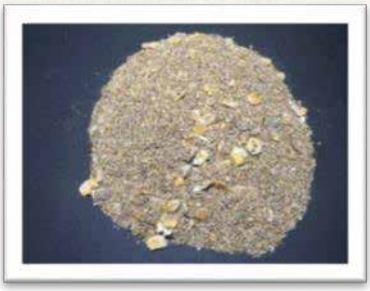
➢ 乳ブレンド18

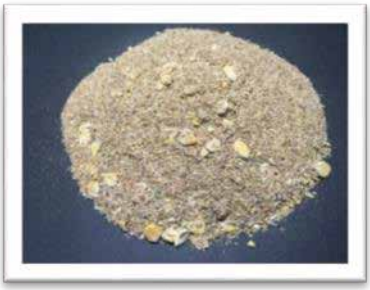
- CP 18.0%・TDN 74.5%
- 綿実・ビートパルプを多く配合

マッシュタイプ

➢ デイリープレミアムM

- CP 17.0%・TDN 74.5%
- バイパス蛋白配合
- ビタミン・ミネラル強化



➢ パワーSマッシュ

- CP 17.0%・TDN 74.0%
- シンプルな内容で低コストを実現